

2月11日衝撃発売！！

# お年寄りを閉じ込めるな、放牧せよ!!



長尾和宏  
丸尾多重子

もっと  
ぼけるで！

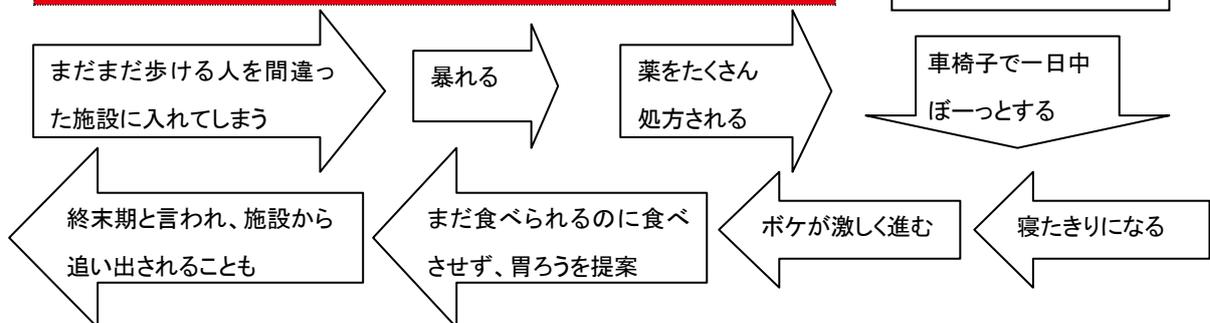
ばあちゃん、  
介護施設を間違えたら

なぜ、歩いて施設に入所したのに  
たった数ヶ月で  
寝たきりになるの？  
その介護、地鶏派？ プロイラー派？

じいちゃんも  
必ず読んで  
ください

ブックマン社

ベストセラー医師・長尾和宏氏と、関西の介護者たちの駆け込み寺  
「つどい場さくらちゃん」主宰・丸尾多重子さんが、ぶっちゃけ漫才？  
あなたは、何を基準に介護施設を選びますか？  
料金？ 環境？ キレイなところ？ 素敵な料理？  
家族を入れる前に、あなたが入る前に、絶対に読むべき本。



……なんだかすごく、おかしいよね？

## いきなりですが、クイズです

養豚場の豚さんたちが、ある日を境にしていっせいに眠り出しました。  
唯一の楽しみであるごはんの時間になっても、なかなか起きようとしません。  
実は、この養豚場には、その数日前に大きな変化がありました。  
さて、どんな変化があったのでしょうか？ これは、本当にあったお話です。

ヒント\*養豚場の餌は、人が食べたごはんの「残飯」を譲ってもらいます。



**団塊の世代が高齢者になり、医療も介護も供給が追いつかなくなる**

**2025年問題（超高齢化社会、大認知症時代の到来）に向けて、**

**われわれは何を知っておくべきか？**

介護施設が寝たきりを作っている？ ボケを悪化させているのは医者？ ケアマネの言う通りにしていたら大変な目に？ 知っておかないとヤバい驚愕のエピソードが満載!!

### <本書の内容>

- 第1章 そして気がついたら、介護でボロボロになっていた…
- 第2章 許さへん！ 老人ホームは魚屋か!?
- 第3章 ボケたじいさんが暴れるのには、理由がある！
- 第4章 徘徊老人を見つけただけで、警察に通報してどうするの？
- 第5章 これぞ日本の悲劇!? …ボケた親を看取れない子どもたち
- 第6章 勘違いしたケアマネさんが、ボケを早めることもある!?
- 第7章 ケアマネさんを一旦疑ってこそ、信頼が築ける。それが人間やん
- 第8章 ちょっと待って！ その施設選びが命取り
- 第9章 最期まで家で看たいけど…世間がそれを許さない!?
- 第10章 ああ無情。家族が賢くならなければって言うけど、どうすりゃいいの？
- 第11章 ばあちゃん、じいちゃんをブロイラーでなく地鶏にしよう！放牧介護のすすめ
- コラム1 「認知症でもリピングウイルスは可能か？ 可能とすればどこまで？」
- コラム2 「介護施設で、平穏死できるの？」
- マンガ「困った症状への対応」

**認知症高齢者は推定462万人、予備軍を含めて800万人！(2013年厚労省調べ)  
核家族社会や「介護保険制度」がもたらしたものは？  
問題山積みの医療・介護現場の問題点を、渦中のふたりがぶっちゃける！**

45 第2章 許さへん！老人ホームは魚屋か！?

長 それは、営利企業の人たちですよ。企業は当然、売り上げを1円でも多く出すのが使命だから。そこに介護保険制度で国がバックアップしてくれて税金がどんどん投入されるから、たとえば、要介護5の人をたくさん呼び込んで、老人アパートに詰め込めただけ詰め込んだほうが……。

丸 養鶏場と一緒に。同じ面積なら、たくさん鶏を飼っておいたほうが、たくさん卵を生むから儲かる。

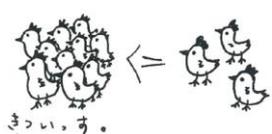
長 魚屋の次はニワトリか。まるちゃん、喻えが過激すぎやで。

丸 いや、ニワトリのほうが好きな時間にごはん食べてるよ。ごはんさえ決まった時間にスプーンで口に押し込まれるのが施設の生活だからね。

長 さっきも言ったけど、ビジネスだから効率重視ですよ。最も重度の要

はるの？

●要介護5なら月に35万円程度の介護保険  
介護保険は原則として費用の1割負担で介護サービスを利用できる。利用限度額(自費)は要介護5の場合35万8000円超部分は全額自己負担となる。



きついな、す。

困った症状への対応②

ごはんまだかい？ 何度も食事を要求する

食べられて少し食べさせる

あ、かっでえいかがですか？

さ、食べたいばかりでしよ？

作るフリでOK!

今から作りますわ!

今年のヨメは何も食べさせてくれないじゃ……

さみしさや怒りを食べることで解消しようとしていること。まずは言葉を聞いてあげて。

何が食べたいですか？ お肉、お餅、なんでもおね。

食べたことを脳の満腹中枢が忘れてしまった。障害されている

おねがまた……?

◎ヨシタケシンスケ

漫才のような小気味よいふたりのトークで、医療・介護現場の問題点をぶった斬る！

「こんな時、どうすればいいの？」お年寄りの症状への、正しい対応がわかるマンガも収録！

**認知症医療と介護の最新事情がまるわかり！**

**あなたや家族が穏やかな老後を過ごすためのアドバイスが満載!!**

**介護中の人や介護職の人も、読めば心が軽くなる!!**

【著者プロフィール】



長尾和宏  
ながお・かずひろ

1984年東京医科大学卒業、大阪大学第二内科に入局。1995年兵庫県尼崎市で開業。複数医師による年中無休の外来診療と在宅医療に従事。長尾クリニック院長。医学博士、日本尊厳死協会副理事長、日本慢性期医療協会理事、日本ホスピス在宅ケア研究会理事、東京医科大学客員教授。主な著書に『胃ろう、抗がん剤、延命治療いつやめますか？「平穏死」10の条件』『あなたの治療、延命ですか？縮命ですか？抗がん剤10の「やめどき』』（小社刊）など。



丸尾多重子  
まるお・たえこ

大阪市生まれ。4年間OLをした後、調理師免許を取得。15年間東京で食関係の仕事に就く。帰阪後10年間で母、兄、父を在宅介護。ヘルパー1級取得の実習で介護現場の実態を知った憤りから、2004年3月兵庫県西宮市に〈つどい場さくらちゃん〉を設立。2007年4月NPO化。2008年、現在の一軒家に移設。高齢者はもちろん、介護者や介護従事者らの交流の場を提供し、悩みを分かち合ったりすることで介護者の孤立を防いでいる。愛称「まるちゃん」。

【つどい場さくらちゃん】 <http://www.tsudoiba-sakurachan.com/>

『ばあちゃん、介護施設を間違えたらもっとボケるで！』

2014年2月7日発売！ 長尾和宏×丸尾多重子 著

仕様／四六判 248頁

発売元／(株)ブックマン社 TEL／03-3237-7777 FAX／03-5226-9599

お問い合わせ／小宮亜里（編集部／03-3237-7784） [komiya@bookman.co.jp](mailto:komiya@bookman.co.jp)

石川達也（営業部／03-3237-7777） [ishikwa@bookman.co.jp](mailto:ishikwa@bookman.co.jp)